

## 令和6年度 地域ケア実務検討会（第2回）会議録

日時 令和6年9月27日（金）  
午後1時30分～3時00分  
場所 プラザけやき 201 会議室

### 次 第

#### 1 開 会

#### 2 会長挨拶

9月8日に職務代理者である比良さんがお亡くなりになりました。心からお悔やみ申し上げます。

#### 3 議 事

介護予防検討会 事例報告

介護予防検討会にて提出された以下の2事例の個別課題をもとに、地域課題の抽出・分析を行う。

- ・事例1（資料5-1）
- ・事例2（資料5-2）

#### <第2回にて提案された地域課題>

- ①フレイル予防の知識普及と働きかけ
- ②病院リハ職と介護事業所リハ職の情報連携
- ③情報共有するためのツールの活用と改善

#### <地域課題に対する意見・分析>

##### ①について

- ・本人や家族が、活動不活発から起こるフレイルについて知り予防行動がとれるような働きかけが必要ではないか。
- ・高齢者の役割づくり、外出先づくりをすることで不活発な生活を予防することが必要である。
- ・高齢者の食事について、知識の普及や相談の受け皿が欲しい。

##### ②について

- ・退院時に病院から介護事業所にリハ情報を送るが、介護事業所の職員の交代やリハ職以外の職種（看護師や柔道整復師等）が担当している事業所ではリハの専門的な詳細が伝わりづらく十分な情報伝達に至っていない。
- ・デイサービスのリハ職は職場に複数いる所ばかりではなく相談相手がおらず孤立しやすい。リハ職のネットワーク（派遣する、相談先になる）があるとよい。

##### ③について

- ・複数の医療機関に受診しているケースは主治医意見書だけでは把握しきれない既往歴や疾患がある場合があり、ケアマネが本人や家族に聞き取りしても正確な医療情報が伝わっていないことがある。

- ・患者情報の連絡様式について病院の様式と医院の様式が違う。統一できないか。
- ・しずケアかけはしを病院と介護事業所のリハの連携に活用できないか。
- ・介護事業所が在宅介護医療連携支援窓口等でリハビリや医療に関する相談ができ、デイケアやデイサービスで行う利用者のリハビリに活用できるとよい。

<地域課題分析過程におけるまとめ・意見>

- ・前回、課題の記入に時間がかかったが課題を付箋に記入するまでを宿題として当日の会議に臨む形にしたため、時間の短縮ができた。
- ・課題抽出からマトリクスに付箋を貼る際、抽出課題を委員が思い思いにマトリクスに貼っていく形式で実施しているが、委員の抽出した課題を一旦カテゴリ別にまとめ、まとめた課題をマトリクス上に貼るやり方にするすることで、課題をまとめやすくする。

#### 4 閉 会